

1. 事業の位置付け

事務事業名	外国籍市民支援事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
予算科目	01-030106-150000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	外国籍市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 市民・通訳翻訳ボランティア】		
目的・目標		事業の概要	
生活相談窓口の充実や通訳派遣、生活ガイドブックの配布など、外国籍市民が暮らしやすい環境が整備されています。		日本語があまり理解できないことにより、日常生活に支障を来している外国籍市民への支援のため、生活相談窓口の充実、通訳ボランティアの派遣、生活ガイドブックの配布などを進めます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	生活相談窓口通訳派遣回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			45	48	48			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	生活相談窓口利用者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			160	160	160			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
生活相談窓口へのスペイン語、ポルトガル語の通訳ボランティアの派遣や英語、ポルトガル語の生活ガイドブックの改訂版をはじめ8言語のガイドブックの配布、各種行政関連の文書の翻訳などを行い、外国籍市民が暮らしやすい環境づくりを進めた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	外国籍市民が増加、定住化傾向にある中、外国籍市民が求めている生活支援は多岐に及ぶことから、事業の必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	外国籍市民のための生活相談窓口への通訳派遣や各言語での公的なお知らせの翻訳などの事業は多文化共生社会の発展や外国籍市民の支援のためにも継続的に行うことが必要である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	日本語が十分に理解することができないために日常生活に支障をきたしている外国籍市民も少なくなく、本事業の妥当性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市はコーディネートを担当し、通訳翻訳は地域に生活しているボランティアに依頼することで地域の実情に合った通訳翻訳者を派遣している。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
今後に向けた課題の分析 通訳翻訳ボランティアの増員。現在派遣している生活相談窓口への通訳以外の言語通訳の派遣など更なる事業の充実が必要。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				生活相談窓口、通訳ボランティア派遣など	生活相談窓口、通訳ボランティア派遣など	生活相談窓口、通訳ボランティア派遣など		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	818	1,291	1,226	0	0
事業費 (A)		0	0	818	1,291	1,226	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	66.72				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.10	0.40	0.40	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	840	3,357	3,357	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	1,658	4,648	4,583	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 外国籍市民の多国籍化に対応するために、生活相談窓口の充実や通訳翻訳の派遣、各種生活冊子(多言語)の更なる充実を図る。	
平成21年度取組方針	
生活相談窓口へのスペイン語・ポルトガル語通訳に続く他の言語通訳者の派遣が可能になるような人材育成に努める。生活ガイドブックについては現在ある8言語について順番に内容の改訂を行う。	
課長コメント	スペイン語、ポルトガル語に続く他の言語通訳者を生活相談窓口へ派遣することは、外国籍市民の生活支援策からも必要性が高いことから、派遣に向けて事業を検討していきたい。